

のびのび通信 第82号

2013年5月



陶芸など継続して体験す

ることで、その成長を感じとることができていましたが、徐々に作業メニューも追加していくことにしてみました。今回は、缶バッチづくりに挑戦です。おもちゃメーカーの簡易的な機器やキットもありますが、ここは、本物志向の強い「のびのび」メンバー、本格的な機器とキットを準備しました！

この本物に飾るは体験は 満足度言いたうです

缶バッチの作成工程は、大きく4つに分類されます。①画像印刷②バッチサイズに裁断③プレス④仕上げ、そして、それぞれに道具が必要です。そこで、ワークシステム的に左から右に移動する形で、それぞれの作業コーナーを配置してみました。



それぞれの作業工程を明確にし、順次、作業を進めるように配置しただけですが、誰一人として、作業に戸惑うことなく、しかも、作業中の人が時間がかかってしまって待つ状態になっても、不平不満を言わずに、順番を待つことができていました。ホント、たった配置を工夫しただけなのに・・・です。

いかに、情報を子ども達がわかりやすいものに構造化することが重要かということですね。

ワークシステムについては、机上の作業を例にとって説明されることが多いですが、こうやって、ワークシステム概念に基づいて部屋全体を構造化すれば、同様の効果が期待できることに気付いた活動でした。

そして、子ども達は、自分の手でバッチを完成させたことにも大満足です。世界にひとつだけの素敵なバッチは、宝物です。

〔平成 25 年度総会〕

毎年、その年度の最初の活動日に、総会を開催しています。今回も活動中に、ボランティアさんに運営をお願いして、総会を行い、次の事項について審議しました。

●平成 24 年度活動報告 ●平成 24 年度収支決算報告 ●平成 25 年度活動計画 ●平成 25 年度収支予算 ●役員体制について

【セミナー速報】

赤い羽根共同募金助成金と社会福祉開発研究基金助成金を活用して次の日程でセミナーを開催します。詳細は、ホームページに記事を掲載し、それぞれ受講者の募集を開始しています。

〈予定〉平成 25 年 7 月 27 日（土）コミック会話に関するセミナー 講師 納富奈緒子先生・篠田朋子先生

平成 25 年 7 月 28 日（日）告知、自己認知支援に関するセミナー 講師：服巻智子先生

発行：発達障害児支援サークル「のびのび」